

令和8年度

上水工第1号

緊急連絡管整備工事(緑ヶ丘地区)
(北秋田市坊沢字大野尻 地内ほか)

数 量 計 算 書

北秋田市建設部上下水道課

労 務 計 算 書

上段：当初設計
下段：変更設計
(7 / 16)

1. 連絡管

名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	計	計	算	式
ポリエチレン管据付工	φ100(融着)	m	551.6	551.612	+554.51	-2.58	-0.32
ポリエチレン管据付工	φ50(融着)	m	2.5	2.460	+3.18	-0.72	
ポリエチレン管継手工	φ100(2口)(融着)	箇所	13.0	13.000	+9.0	+3.0	+1.0
ポリエチレン管継手工	φ100(1口)(融着)	箇所	160.0	160.000	+93.0	+6.0	+32.0 +14.0 +8.0 +1.0 +2.0 +2.0 +1.0 +1.0
ポリエチレン管継手工	φ50(1口)(融着)	箇所	8.0	8.000	+6.0	+1.0	+1.0
メカニカル継手工	φ75以下	口	4.0	4.000	+4.0		
ポリエチレン管メカニカル継手工	φ100	口	2.0	2.000	+2.0		
ポリエチレン管切断工	φ100	口	41.0	41.000	+41.0		
フランジ継手工	φ100 7.5K	口	1.0	1.000	+1.0		
フランジ継手工	φ65以下 7.5K	口	8.0	8.000	+8.0		
塩化ビニル管据付工	φ50	m	6.6	6.580	+6.58		
TS継手工	φ50 一口当り	口	20.0	20.000	+24.0	-4.0	(吐出部控除)
塩化ビニル管切断工	φ50	口	12.0	12.000	+12.0		
铸铁製仕切弁設置工	φ100以下 機械施工	基	7.0	7.000	+3.0	+4.0	
仕切弁筐設置工	ねじ式、AB1号、底版あり	箇所	8.0	8.000	+7.0	+1.0	

土 工 延 長 調 書

上段：当初設計
下段：変更設計
(9 / 16)

1. 連絡管

路 線 名	管 種 ・ 口 径	測 点	土工番号	切断本数	舗装復旧幅	区 画 線	延 長	舗 装 面 積	備 考
	HPPE φ100								
		～ No. 18							
		～ No. 18 +33.4	1-1	カッター4本	1.60		33.40	53.44	
		～ No. 20 +1.0	2-1	カッター3本	1.60	67.60	67.60	108.16	
		～ No. 20 +6.0	2-1	カッター4本	1.60	3.20	5.00	8.00	中央線 1.6m、外側線 1.6m
		～ No. 23 +30.0	1-1	カッター3本	1.60	174.00	174.00	278.40	
		～ No. 27 +46.5	1-1	カッター3本	1.60	216.50	216.50	346.40	
		～ No. 28 +0.3	1-1	カッター4本	1.60		3.80	6.08	
		～ No. 28 +29.2	1-1	カッター3本	1.60	28.90	28.90	46.24	
		～ No. 28 +36.4	1-1	カッター4本	1.60		7.20	11.52	
		～ No. 29	1-1	カッター3本	1.60		13.60	21.76	
		～ No. 29 +1.5	1-1	カッター4本	1.60		1.50	2.40	
不断水工			3-1	カッター4本	2.15		1.20	2.58	

一 次 復 旧 計 算 書

上段：当初設計
下段：変更設計
(13 / 16)

1. 連絡管											
名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	計	1-1 478.9m	2-1 72.6m	3-1 1.2m	1-2 6.7m			
アスファルト 舗装版切断工	t≤15cm	m	1120.0	1118.80	+866.0 +91.8	+135.2 +10.0		+2.4	13.4		
アスファルト舗装版 直接掘削積込工	t≤10cm BH0.20 (排ガス対策型)	m ²	336.0	336.3	0.60 ×478.90 =287.34	0.60 ×72.60 =43.56	1.15 ×1.20 =1.38	0.60 ×6.70 =4.02			
アスファルト殻運搬工	4t-5.0km BH0.20 (排 ガス対策型)	m ³	15.0	14.74	287.34 ×0.04 =11.49	43.56 ×0.07 =3.04	1.38 ×0.04 =0.05	4.02 ×0.04 =0.16			
産業廃棄物処分費	アスファルト殻	t	35.0	34.62	11.49 ×2.35 =27.00	3.04 ×2.35 =7.14	0.05 ×2.35 =0.11	0.16 ×2.35 =0.37			
機械掘削積込工 (障害なし)	砂質・礫・粘 BH0.20 (排ガス対策型)	m ³	350.0	352.41	301.70 =301.70	44.43 =44.43	2.31 =2.31	3.97 =3.97			
	床掘	m ³		352.41	0.630 ×478.90 =301.70	0.612 ×72.60 =44.43	1.932 ×1.20 =2.31	0.594 ×6.70 =3.97			
敷砂工 タンパ転圧	山砂 BH0.20 (排ガス対策型)	m ³	170.0	168.4	0.300 ×478.90 =143.67	0.300 ×72.60 =21.78	0.931 ×1.20 =1.11	0.273 ×6.70 =1.82			
管路戻戻工 タンパ転圧	RC-40 BH0.20 (排ガス対策型)	m ³	55.0	54.56	0.102 ×478.90 =48.84	0.060 ×72.60 =4.35	0.575 ×1.20 =0.69	0.102 ×6.70 =0.68			
残土運搬工 土砂	4t-11.2km BH0.20 (排ガス対策型)	m ³	350.0	352.41	301.70 =301.70	44.43 =44.43	2.31 =2.31	3.97 =3.97			
残土受入地処理	BH0.60 (排ガス対策型)	m ³	350.0	352.41							
凍上抑制層 再生グラッサラン RC-40	人力施工 t=6cm	m ²	290.0	292.74	0.60 ×478.90 =287.34		1.15 ×1.20 =1.38	0.60 ×6.70 =4.02			
下層路盤工 再生グラッサラン RC-40	人力施工 t=15cm	m ²	290.0	292.74	0.60 ×478.90 =287.34		1.15 ×1.20 =1.38	0.60 ×6.70 =4.02			
下層路盤工 切込砕石 C-40	人力施工 t=25cm	m ²	44.0	43.56		0.60 ×72.60 =43.56					
上層路盤工 粒度調整砕石 M-40	人力施工 t=16cm	m ²	290.0	292.74	0.60 ×478.90 =287.34		1.15 ×1.20 =1.38	0.60 ×6.70 =4.02			
上層路盤工 粒度調整砕石 M-40	人力施工 t=19cm	m ²	44.0	43.56		0.60 ×72.60 =43.56					

積 上 運 搬 費

H=2.0m

軽量鋼矢板 II型 H=2.00m L=19.00m

19.00	m	×	2	÷	0.25	m	=	152	枚
152	枚	×	2.00	×	0.0148	t/m	=	4.50	t
			アルミ腹起し	×	0.03	4	=	0.12	t
			水圧サポート	×	0.09	4	=	0.36	t
			水圧ポンプ	×	0.08	1	=	0.08	t
計								5.06	t

仮設材運搬費

機種	規格	質量(t)	回数	キロ数	単価	往復
軽量鋼矢板	II型	5.06	1	10km以内		

仮設材積込積卸

機種	規格	質量(t)	回数	キロ数	単価	往復
軽量鋼矢板	II型	5.06	1			

_____ 合計

積 上 運 搬 費

H=2.5m

軽量鋼矢板 II型 H=2.50m L=7.00m

7.00	m	×	2	÷	0.25	m	=	56	枚
56	枚	×	2.50	×	0.0148	t/m	=	2.07	t
			アルミ腹起し	×	0.03	4	=	0.12	t
			水圧サポート	×	0.09	4	=	0.36	t
			水圧ポンプ	×	0.08	1	=	0.08	t
							計	2.63	t

仮設材運搬費

機種	規格	質量(t)	回数	キロ数	単価	往復
軽量鋼矢板	II型	2.63	1	10km以内		

仮設材積込積卸

機種	規格	質量(t)	回数	キロ数	単価	往復
軽量鋼矢板	II型	2.63	1			

_____ 合計

軽量鋼矢板土留工損料

H=2.0m

賃料=[市場単価(円/日・t)×供用日数(日)+1現場当り修理費及び損耗費(円/t)]×使用数量(t)									
工種	矢板長 (m)	使用数量 (t)	供用日数 (日)	1日当り賃料 (円/t)	転用回数 (回)	修理費及び 損耗費 (円)	1現場当り修理及び損耗費 (円/t)	土留損料 (円)	備考
軽量鋼矢板	h=2.00	4.50	3.0		2				
合計									

軽量金属支保工使用本数: 2.0 ÷ 4.0 = 1本×2本×1段 → 2本

		使用数量 (本)	供用日数 (日)	1日当り損料 (円/本)	1現場当り基本料金 (円/本)	損料 (円)	備考
軽量金属支保	腹起し	2	3.0				
水圧式パイプサポート	切梁	2	3.0				
水圧ポンプ		1	3.0				
小計							

計

軽量鋼矢板土留工損料

H=2.5m

賃料=[市場単価(円/日・t)×供用日数(日)+1現場当り修理費及び損耗費(円/t)]×使用数量(t)									
工種	矢板長 (m)	使用数量 (t)	供用日数 (日)	1日当り賃料 (円/t)	転用回数 (回)	修理費及び 損耗費 (円)	1現場当り修理及び損耗費 (円/t)	土留損料 (円)	備考
軽量鋼矢板	h=2.50	2.07	2.0		1				
合計									

軽量金属支保工使用本数: 2.0 ÷ 4.0 = 1 本×2本×2段 → 4 本

		使用数量 (本)	供用日数 (日)	1日当り損料 (円/本)	1現場当り基本料金 (円/本)	損料 (円)	備考
軽量金属支保	腹起し	4	2.0				
水圧式パイプサポート	切梁	4	2.0				
水圧ポンプ		1	2.0				
小計							

計